



**【参加】登校拒否・不登校を考える夏の全国大会2022**

尾木直樹氏「大丈夫!不登校~多様な学び・生き方に向かって~」記念講演は、日本の教育のあり方を見つめ直す大切な講演!

**【出席】公明党全国大会**

公明党代表に山口那津男代表が再任。「全議員が党勢拡大に闘い抜き、大いなる飛躍を遂げて結党60年を迎えたい」との挨拶。最後には新出発の勝鬨!!



**【視察】仙台市泉区泉パークタウン朝日地区「スマートシティモデル事業」**

全国で3例目、1965区画、令和4年2月供給開始。先端技術を活用した施策実施により、住民主体、住宅地が抱える高齢化などによる諸課題の解決にも取り組みの提案が。

**【意見交換】子どもの障がいお悩み相談室(医療的ケア児家族会)**

医療的ケアが必要なお子さんの家族と懇談。医療的ケア児支援法の理念(医療的ケア児と保護者の意志を最大限に尊重等)と行政の対応に大きな隔たりがある。



**【意見交換】認定NPO法人フローレンス「保育のあり方」**

2014年日本初・障害児専門保育園を東京都杉並区に開所。仙台の保育のあり方について、鈴木団長はじめ、子ども未来局と意見交換。

**【意見交換】選択的夫婦別姓・全国陳情アクション宮城県支部「選択的夫婦別姓」**

公明党の県議、仙台議団で意見交換。夫婦同姓の強制で様々な困りに直面している実情を伺いました。法的根拠のない旧姓の通称使用の拡大では課題を解決できない。

**【講演拝聴】TDU・聖隷大学 朝倉景樹代表「不登校とは」**

子どもの権利条約、教育機会確保法の周知や、地方議会の果たす役割について。地方議員から行政へ教育機会確保法の周知等を促し、多様な学びを推進していく活動の提案。

**【表敬訪問】仙台育英学園高等学校野球部 高校野球祝優勝**

夏の全国高校野球で東北勢初の優勝を果たした仙台育英高校、須江航監督をはじめ選手の皆様が、市長、議長へ表敬訪問! 輝く爽やかな喜びの姿!!

皆様のお声実現!!



教職員・保護者向け  
不登校支援情報誌「With」



新生児誕生祝福事業  
「社の子のびすくプレゼント」

いのちを育む!! **おだしま久美子** 通信

Vol. 73  
2022 秋号

公明党仙台市議団 青葉区国分町3丁目7-1 TEL 022-214-8718

**!!! 緊急要望特集 !!!**



**公明党市議団/文化・復興・まちづくり(青葉山交流広場)、マイナンバーカード申請支援**

青葉山交流広場の複合施設整備の方針が示されたことを受け、市民意識調査を実施。市民ニーズを的確に捉えながらの計画推進を求めました。また、マイナンバーカード周知、支援ブースの拡充など申請支援の徹底を求め太白区、泉区で増設が実現。混雑軽減されました。

**高森連合町内会/通学路の安全対策**



高森連合町内会 通学路の安全対策要望



実施後(交差点西側) 実施後(交差点東側) 実施後(交差点南側) 実施後(交差点北側)

**寺岡1丁目/クマ出没安全対策**



寺岡1丁目 バス停留所付・囲み線設置



寺岡1丁目  
クマ出没安全対策

**西中山1丁目/通学路の安全対策**



令和4年8月22日 標識設置 令和4年8月9日 要望書提出



令和4年8月22日 警察と区役所と現場確認!

**放課後ケアネット/コロナ感染症に伴う学校の対応**

放課後等デイサービスを運営する放課後ケアネットワーク仙台でアンケート調査が行われ、「新型コロナウイルス感染症に伴う学校の対応について」要望書を提出しました。



仙台市教育長・健康福祉局長へ  
要望書提出



▶ 令和4年第3回定例会  
▶ 決算等審査特別委員会  
▶ 経済環境常任委員会

決算等審査特別委員会 中継

第1分科会



公共施設マネジメント推進による  
施設の適正化事業

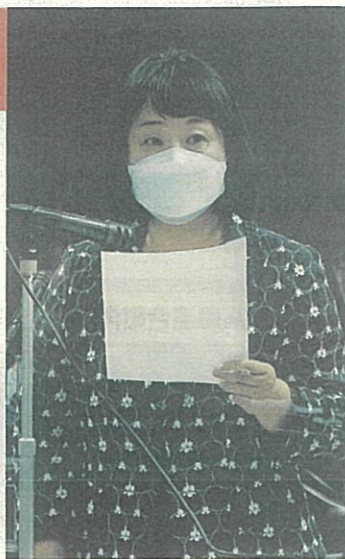
小田島 「将監複合施設」は仙台市のモデル事業として財政的な効果について注目されている。その効果は。

財政企画課長 施設の複合化に伴い共用部分を集約すること等により、一定程度施設規模を抑制することができた。

小田島 市民交流スペースを運営する「将監みんなのサロンふれ・ミー運営委員会」が、市長に財政的な支援を求めるといふ要望書を提出した。



財政企画課長 活動の一部を引き継いで頂いている。3年間を目途に補助を協議。



マイナンバーカード、マイナポイント設定支援ブースの拡充

小田島 本市のマイナンバーカードの交付状況について回答願う。

答 弁 マイナンバーカード541,973枚、交付率は50.9%、新規取得等に係るマイナポイントの申込者は約30万2千人、健康保険証としての利用申し込みは約13万1千人、公金受取口座の登録は約12万3千人といった推計。

小田島 会場が混雑し予約取れない。マイナポイント設定支援ブースの拡充等を求める。

答 弁 支援ブースの拡充に向け、現在、準備を進めている。

小田島 住所変更に係る案内及びマイナンバーカードの有効期限切れを防ぐ周知。

答 弁 転入・転出時の住民票異動届と併せてマイナンバーカードの住所変更が必要。有効期間は、発行の日から10回目の誕生日まで、ただし20歳未満の方は5回目の誕生日まで。必要な手続きの周知が行き届くよう窓口の連携強化に努める。

糖尿病性腎症重症化予防プログラム事業

小田島 新型コロナウイルス感染症は、糖尿病の方の重症化リスクが高いことが明らかになっている。透析に至る原因の最も多いのが糖尿病性腎症と言われている。特定健診などの健診未受診、健診で糖尿病の基準値を超えたにもかかわらず医療機関の未受診、自己判断での治療中断が原因で、糖尿病の血糖コントロールが悪化し、新型コロナウイルスの感染症状が重症化する割合が増加傾向にある。

答 弁 健診受診による早期発見や継続的な治療により、糖尿病の重症化予防に取り組んでいく必要性が、さらに高まっている。

小田島 国保データベースシステムを利用し5年前迄のレセプト情報等から治療中断者を抽出できないか。健診受診の有無に関わらず、レセプト情報から確認できるすべての治療中断者に受診勧奨ができる。

答 弁 宮城県から提供されたリストを活用しながらであれば抽出は可能。

障がい児・医療的ケア児の保育、小規模保育存続

小田島 医療的ケアが必要な児童は46人。保護者の中には、就労を希望する方いる。受入れ可能施設数及び利用者数は、青葉区が3施設で利用者2名、宮城野区が2施設で利用者1名、太白区が2施設で利用者1名、全区に設置を求める。アーチルでの申請相談が4ヵ月待ちで、保護者は不安と苦しさに悩んでいる。これ以上、保護者の不安をそのままにはできない。全庁的な対応策を求める。

該本副市長 地域の子育て支援機関や保育所・幼稚園・学校、アーチルも含めて児童発達支援センター等子育て支援の機関の連携の中で全庁的な対応を考える。

小田島 仙台市の保育の必要性認定に係る就労要件は、月64時間以上だが、国が定める48時間以上とすれば、保育の求めに応じて入所しやすくなる。

答 弁 稚園や保育施設の需要に与える影響等を踏まえると慎重な判断が必要になる。意見交換を行い課題を整理する。

小田島 レスパイト支援事業としての光ヶ丘スベルマン病院の環境整備を求める。

答 弁 利用調整などを行うコーディネーターを配置し、ご家族のご意向も伺い事業所側とも連携する。

小田島 看護師確保は重要な課題。全国訪問ボランティアナースの会「キャンパス仙台」は震災後も制約を持ちながら活動を続けている。団体等との意見交換を求める。

答 弁 意見交換する機会を設けたい。教育局・健康福祉局・子ども未来局で実現!!

小田島 子育てに奮闘中の保護者のお声、事業に携わる団体の意見を受け止める機会を持ち、市民の信頼にお応えできる施策の運営を求める。

